

更なるキャリアアップ

(千葉西総合病院→長野県立こども病院→かわぐち心臓呼吸器病院)

かわぐち心臓呼吸器病院

浅見 昌志

氏名：浅見 昌志 (1985 年生まれ)

所属・役職：医療法人社団康幸会 かわぐち心臓呼吸器病院
医療技術部臨床工学科 副科長

経歴：2008 年 03 月 東海大学開発工学科 卒業

2008 年 04 月 医療法人徳洲会千葉西総合病院 入職
(主に、体外循環業務に従事)

2012 年 02 月 地方独立行政法人長野県立病院機構
長野県立こども病院 入職

2015 年 11 月 医療法人社団康幸会
かわぐち心臓呼吸器病院 入職

資格：第 1 種ME 技術実力検定試験合格 (2007)

呼吸療法認定士 (2012)

体外循環技術認定士 (2014)



Q：今回はかわぐち心臓呼吸器病院をされている浅見昌志さんにお話を伺います。よろしくお願ひします。まず初めに、現在、主に従事している業務について教えてください。

現在は体外循環や、ICU を主として業務を行っています。また当科全体の責任者をしているのもあり、パソコンに向き合っている時間も大変長いです。

Q：現在の浅見さんのかわぐち心臓呼吸器病院での業務スケジュールはどのようになっていますか？循環器の業務となるとオンコールや当直などもあるかと思いますが、どんな感じになっていますか？週休 2 日程度で勤務しています。日勤の業務は 8:30～17:30 までとなっています。体外循環に従事できるスタッフが少なかったために毎日オンコールでしたが、昨年に体外循環経験者が入職してくれたのでオンコールの数は半分になりました。オンコールの負担が減ったため遠くにも出かけることができるようになり、一段と QOL が上がりました！当直は、私自身オンコールの割合が多いため月 1～2 回程度となっています。

Q：循環器でも有名な千葉西総合病院で経験を積まれた後、こども病院に転職後かわぐち心臓呼吸器病院に移られています、きっかけや経緯などを教えてください。

小児医療に憧れてこども病院に転職したのですが、メンタルを病んでしまいました。上司がきつい、就労環境がきついなどではなく、小児医療の現場は生易しいものではなくて、病と戦っている子供たちと接すると考えさせられる事が多く色々悩んでしまいました。生半可な気持ちで小児医療に飛び込んだ私には正直きつかったです。そんな時に、千葉西総合病院で一緒に働いていた当院の心臓血管外科部長の金森先生に誘われて当院に転職する事となりました。



開院当時のメンバー

Q：かわぐち心臓呼吸器病院に移られた時期ではまだ開院して間も無くて、そこから現在は埼玉でも有数の手術件数を有する施設になっていますが、手術件数増加に伴って、スタッフが増えないまま手術件数が増えるのは大変だったと思います。実際どうでしたか？

院長の竹田先生は、開院時に目標として「開心術年間 50 件だ！」と言っていたのを覚えています。それが蓋を開けてみたら 1 年目の人工心肺件数は 130 件を超えていました。それから、凄いスピードで症例が増えていき、気づけば年間症例数が 200 件を超えて今に至ります。うらやましいと思われるかもしれませんが、開院時オペ室の看護師の心外経験者は 0 人、ICU 看護師も有志が数名いるだけ、あとは ICU 未経験者、臨床工学技士も体外循環経験者おらず…などと他科も人材難でしたので、病院全体が毎日お祭り騒ぎでした。また、院長が専門としている ECMO の件数も増えてきて、職種を超えて協力しながら必死に業務をこなしていました。そういう実情を含めて、凄く稚拙な表現ですが“無茶苦茶” 大変でした。開院からあっという間に時間が過ぎ去り現在を迎えている感覚なので、何が大変だったかと聞かれても日々の業務に追われていたため具体的には思い出せません…。スタッフが充実した今になって過去を振り返ると、あの時しんどかったな…などの記憶が漠然とフワフワした感覚で思い出されます。



現在はスタッフが増えて充実し、皆でスノーボードに行けるようになりました。

Q：人工心肺の業務だと施設間でシステムが大幅に変わることも多いかと思います。大変だったエピソードがあれば教えてください。もしくは、苦労した点などあれば教えてください。

こども病院時代は回路や構成が成人と似ても似つかないものが多く、最初はかなり大変でした。かわぐちでは金森先生と以前一緒に働いていたこともあり、体外循環のシステムについて困った事はありませんでした。ただし、私自身立ち上げに関わったことがないため、人工心肺の構成などの打ち合わせの際などで、知らない事が多すぎて戸惑いました。幸いにもメーカーさんの当院担当の方が大変良い方で、陰でサポートしてくださいました。今までは、病院にあるものを当たり前のように使用し、当たり前の手順で業務をしていたのですが、『当たり前』という事が、当たり前になるまでには色々な人の考えや経験や苦労があったという事を知るきっかけになりました。

Q：施設を移られて、現在は人工心肺の責任者だと伺っています。色々と経験するなかで、マインド的に変わった点もあると思います。どうでしたか？

先述の内容と似てしまいますが、何よりも皆さんに感謝するのが大事だと思うようになりました。今回立ち上げに携わる事が出来て一番感じたのが、ここまで病院が順調に大きくなったのは、多職種の皆様やメーカーさんのサポートがあったからだと思っています。当たり前に業務ができる環境に感謝できなければ、例えテクニカルな事を習得し技士として成長できたとしても、人間としてはいつまでも未熟なままです。すごく当たりの事でマインドと言って良いのかわかりませんが、私の中で変わった点だと思います。

Q：施設を移る（転職）することの最大のメリットとはなんでしょう？率直な意見を聞きたいです！
ありきたりかとは思いますが、自分の力を最大限活かせるチャンスという事です。

もう一点ですが、自分の経験や知識が全てではなく、井の中の蛙だったという事に気付かされます。そして自分の信念が砕かれます。そこで心折れずに向上心を持ち続ければ、さらに成長できると思います。とはいえ、そんなに気軽に転職する事はできないので、積極的に病院見学に行き“見て”聞いて“情報を得る事や、学会などでの他院と交流する事で補える”とは思っています。

Q：浅見さん個人の今後の目標・野望（笑）など教えてください！

こんな目標でいいのかわかりませんが、開院から忙しくて昼夜問わずなかなか家にいることがなく、妻にとってほぼ家にいない人という存在になってしまった私の人権を取り戻す事です。スタッフも充実して時間が作れるようになったため、そこに尽力していこうと思っています。

Q：今回は、貴重な時間をいただきありがとうございました。最後になりますが、読者の皆様、特に施設を跨いでキャリアアップを考えている方々にメッセージをお願いします！

転職は運とタイミングだと思いますが、あなたの力を最大限活かせるチャンスです。自分の力を試したいと思うなら考えてみてください。また、学会参加や見学など他院との交流を積極的に行うと転職の際に有利となる他、自分のスキルアップにもつながります。